JCS だより
シドニー日本クラブ newsletter

April 2018
Japan Club of Sydney

創立35周年記念企画　歴代会長回顧談
第四代会長 **榎本正弘**氏

東日本大震災復興支援イベント盛況裏に開催
創立35周年記念イベント第二弾　映画「星空物語」上映会

クリーンアップ・オーストラリアに参加

シドニーソーラン踊り隊、4月はチルドレン・フェスティバルに出演

親睦の会◉4月は朗読を楽しみましょう！

JCS35
1983▶2018 創立35周年

2018年 JCS創立35周年記念イベント

第一弾

キャンベラ日帰りバスツアー
日時：1月20日（土）7時出発／19時帰着
行先：Canberra
総勢25人で、駐豪日本大使公邸を表敬訪問し、国会議事堂、戦争記念館を見学してきました。

第二弾

STAR SAND - 星砂物語- 上映会
日時：5月12日（土）14時
会場：州立美術館 ドメインシアター
ロジャー・パレバース監督の沖縄戦が舞台の映画「星砂物語」の上映会。豪州かりゆし会との共催企画。

第三弾

創立35周年記念懇親会
日時：5月27日（日）12時30分～（予定）
会場：Centennial Park内レストラン
1983年の創立時にBBQパーティーを行った同公園で、35周年記念の懇親会をレストランで行います。レストランでの食事となりますので有料ですが、半額はJCSが負担します。先着40名様に限らせていただきます。ご希望の方はJCSまでお申し込みください。
Email：jcs@japanclubofsydney.org

第四弾

パラマッタで日本の祭りを開催
日時：6月9日（土）11時～16時
会場：Centenary Square, Parramatta
チャッツウッドに続いて、シドニー西部パラマッタで初の日本の祭りを開催します。地元の人に祭りを通して日本文化を紹介します。生花・お茶・折り紙・書道のワークショップや、金魚すくい・ヨーヨー釣りなどのお手伝いをしていただけるボランティアを募集中です！ **Email：jcs@japanclubofsydney.org**

4月8日（日） 踊り隊Children's Festival出演（3.30pm@First Fleet Park）
5月12日（土） 映画「星空物語」上映会（2pm@Art Gallery of New South Wales）
5月27日（日） 創立35周年記念懇親会（12:30pm@Centennial Park）
6月9日（土） パラマッタで日本の祭り開催（11am@Centenary Square, Parramatta）
7月14日（土） JCSフェイト開催（11am@Auburn Botanic Gardens Community Picnic Area）

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてください。 **www.japanclubofsydney.org**

■表紙の絵
黒鳥のカップル
先日、夏の間姿を見かけなかった黒鳥を見つけました！ 二羽の黒鳥が長い首でハート型を描くように仲睦まじく泳ぐ姿。黒鳥は、オーストラリアの固有種で、つがいは、生涯添い遂げるとのこと。水面をたらし込み技法で表現してみました。（鴨粕弘美）

［作者プロフィール］ シドニー在住。2007年から永淵博子氏に墨絵を師事。2003年、NSW州立美術館コミュニティー・アンバサダーの研修修了。以降、同美術館にて日本語ガイドボランティア活動を続け、仲間と共に本誌連載コラム「Let' sアート」の記事寄稿もしている。

JCS創立35周年記念イベント 映画「星砂物語」上映会開催

STAR SAND - 星空物語 - シドニー初上映！

映画「戦場のメリークリスマス」で大島渚監督の助監督を務めた、
作家・劇作家・脚本家のロジャー・パルバース氏が、太平洋戦争下の沖縄を舞台に書いた小説「星空物語」を原作に、
平和への祈りと未来への希望を描く初監督作品「STAR SAND - 星空物語 - 」で監督デビューをしました。
シドニー日本クラブと豪州かりゆし会との共催で、この映画のシドニー初上映会を開催します。
英語と日本語の字幕付きですので、オーストラリア人の方とご一緒にご覧になれます。

日時：5月12日（土）開場1:30pm、開演2:00pm
場所：NSW州立美術館 ドメインシアター
The Domain Theatre, Art Gallery of New South Wales
料金：大人$13（シドニー日本クラブ会員料金）
予約：以下の予約サイトで事前購入してください。
https://www.eventbrite.com.au/e/star-sand-sydney-premiere-tickets-42970858996
※プロモーショナルコード（Promotional Code）をクリックして「Members」と入力すると、$13で購入できます。
2017年日豪合作／110分／英語と日本語字幕付き
出演：織田梨沙、満島真之介、ブランドン・マクレランド、
三浦貴大、吉岡里帆　ほか
※映画上映後、監督とのQ＆Aセッションがあります。
※劇場の規定により上映開始後のご入場はできませんので、ご注意ください。

※また、当日はアーチボルド賞絵画展の初日です。駐車スペースの不足が予想されますので、お早めにお越しください。

歴代会長による回顧談
第四代会長　榎本正弘氏

オーストラリア・カナダへの海外移住がテレビでも話題となっていた1988年、44歳で家族そろってシドニーに移住してきました。保坂さんのKogarahからAsquithへの引っ越しの手伝いが最初のシドニー日本クラブ（JCS）との出会いでした。

そして数年を経て、今は亡き原田さんの後を継いで、会長職を賜ることになりました。経済・文化交流とともにBob Hawk、Paul Keating労働党政権の下、日本とオーストラリアの関係は密接に拡大し、日系人口の増加を受けて、JCS初の日本語補習校をCammerayに開校し、熱心なお母さん方の献身的な努力で更にRiverwood、続いてUltimoにも開校し、やがてJICAの協力を仰いで国定教科書を児童に配布できた感激は良い思い出です。

まだパソコンもインターネットも普及していない時代、本誌「JCSだより」への寄稿も手書きやワープロで、大変な編集作業を担当され続けた水越さん、800部近い「JCSだより」の発送業務を一気に引き受けて汗を流されたお母さん方の団結力には頭の下がる思いでした。

Cowra慰霊祭の前に、捕虜収容所跡地を訪問（左端が筆者）

SLを展示してあるCowraの旧Station前で記念撮影

Cowraでの歓迎晩餐会に参加（1994年10月）

西本願寺の村上住職を迎えてCowra慰霊祭への本格参加に、地元名士挙げての晩餐会などの一泊旅行もありました。秋篠宮殿下夫妻のシドニー訪問の空港での特別お出迎えの際は緊張しました。

1995年3月だと思いますが、それまで保坂さんが世界の日系社会にも呼びかけて孤軍奮闘されていた在外選挙権の立法化に向けて、日本から超党派の国会議員30名近くがシドニーを訪問され、公聴会及びレセプションが総領事館で催行されました。その甲斐もあって1998年の公職選挙法改正で立法化されたことは、JCSが公的にその存在を示した功績であったと自負してもよいのではないでしょうか。

35周年を契機に、ぜひ日系2世、3世の若いエネルギーをも巻き込み、JCSの活動が今後も益々発展されることを祈念いたします。

JCS第4代会長　榎本正弘

Cowra滞在の翌朝、今は亡き原田さん（左）、高橋さん（右）とゴルフ

JCS35
1983▶2018 創立35周年

JCS Rainbow Project

第7回東日本大震災復興支援イベント開催

500人以上が、郷土料理や地酒、ワークショップを楽しむ

3月11日(日)15:30から、今年で7回目になる東日本大震災復興支援イベント TSU-NA-GUが、Crows Nest Community Centreにて開催されました。

震災発生時間の4時46分(日本時間2時46分)の黙祷をメインに、前後パフォーマンス、スピーチ、映画上映が披露され、会場設置ブースには、東北物産品や郷土料理、地酒、郷土工芸品、震災写真展、各種ワークショップが並び、会場には延べ500人以上の人達が訪れ、大賑わいでした。

イベントは、和太鼓りんどうの力強い呼び込み太鼓からスタートし、次いで、新極真空手八尋道場の迫力ある空手デモンストレーション、豪州かりゆし会によるエイサー踊りの披露、続いて福島県南相馬市の中学校で作られた「群青」の合唱曲を飯島浩樹氏率いるバンドが歌いました。続いて音楽療法士、名郷泉氏によるピアノ演奏と被災地由来の花の種子配布が行われました。その後、浄土真宗本願寺派の渡部住職による、今年で7回目になる黙祷が捧げられました。

黙祷の後は、震災直後南三陸町に捜索活動に出向いたレスキュー隊指揮官ロバート・マックニール氏のビデオメッセージや、福島県南相馬市小学校のマーチングバンド再結成の映画「MARCH」の上映、デイビッドソンハイスクールICET日本人留学生達による岩手県のさんさ踊り披露と続きました。また、東北大学生が被災地の現状を訴え、全日本男子柔道監督の井上康生氏からも励ましのビデオメッセージを頂きました。また、岩手県出身の石川啄木や宮沢賢治の文学研究で知られるロジャー・パルバース氏も東北への熱い想いを語ってくれました。

最後は宮城県登米市出身の井上悠氏が、震災当時に身近に起きた被災地の状況をプレゼンテーションしました。

各ブースでは、今年は宮城県の登米市観光物産協会が、地酒や地元物産品を数多く提供下さいました。また、デイビッドソンハイスクール日本人留学生達は、岩手県のお正月行事「みずき団子」のワークショップを開催し、地酒コーナーでは、茨城県のお酒「一品」や被災した「大観」、登米市の地酒の試飲会が行われました。ふくしま会ブースではSORAMAMEの池田恵子氏による地元郷土料理「こづゆ」の試食販売が行われました。そして人気の郷土料理試食販売コーナーでは、福島県の「いかにんじん」「ひたし豆」、岩手県の「あま茶」、宮城県の「はっと汁」「ずんだ餅」などが紹介され、来場者はシドニーでは珍しい郷土料理や地酒を楽しんでいました。(食材はノースブリッジの東京マートさんがご提供下さいました。)

会場では、震災直後に被災地に毎月足を運んで撮影をした、伊藤美咲氏の被災地写真展、岩手県大槌町復興プロジェクトの一貫である刺し子グッズ販売、震災で家族や家を失った福島県南相馬市の友人のためにオーストラリア人多数で製作された音楽CD販売など、今年も盛り沢山の内容でした。(さらに詳しい内容をお知りになりたい方は、Facebookのイベントページをご覧ください。
https://m.facebook.com/JCSRainbow/)

このイベントは東日本大震災復興支援が主旨で、今後は東北地方の復興に向けて、東北の魅力をさらにアピールする内容にしていきます。この度はお忙しい中、会場に足を運んで下さった方々に感謝申し上げます。

JCSレインボープロジェクト一同

3月の理事会

日時：3月7日（水）19時～21時 場所：Dougherty Community Centre, Chatswood
出席：八重樫領事、水越、水野、チョーカー、平野、藤田、林、光岡、ジョアネス、渡部
欠席：フレイザー、多田、コステロ、コックス、ベイカー、川上

1. クリーンアップオーストラリア報告

3月4日（日）9時～11時＠レーンコーブパーク
JCSより11人が参加。日本人会からの参加者と合わせ、120人の参加があった。清掃活動の後は、BBQに参加し参加者との交流を楽しんだ。

2. JCS日本語学校報告（3校）

◉City校:10クラス、生徒数173人、131家族
2月10日に総会、保護者会。24日は、ロックダウン、避難訓練を行った。3月3日から3週にわたりクラス保護者会を行い、10日は、日本語学校合同教員研修会を行う。17日は、3学期に行われるスピーチコンテストに向けて第一回スピコン実行委員会が行われる。生徒をはじめ関係者は、少しずつ新校舎に慣れてきた様子。

◉Dundas校：10クラス、生徒数122人、85家族
2月10日に避難訓練及びロックダウン、TC会議を行った。2月17日より3週にかけてクラス保護者会を行い、各クラスで先生と保護者が今年一年の授業内容等について話し合いを行った。3月3日は各クラス、ひな祭りにまつわる授業を行い、全校生徒に雛あられの配布を行った。浴衣を着てくる生徒も見受けられ華やかだった。3月10日はこいのぼりの手形取り、3月24日はフリーマーケットを行う予定。現在、グラント申請の準備、次期役員候補の選定を行っている。白黒コピー機をもう一台購入した。

◉Edgecliff校：4クラス、生徒数47名、37家族
第1学期も半分が過ぎました。4クラス全て新任の先生のため、2月24日のクラス保護者会で先生と保護者とのコミュニケーションを図った。3月3日はひな祭りの行事を行った。10日は合同教員研修会があり、一人を除き先生方が参加するため代講授業になる。17日に避難訓練、24日にロックダウンを行う。従来より高機能のコピー機を新しく購入したので効率が上がった。

3. 東日本大震災復興支援イベント『TSU-NA-GU』

3月11日（日）於Crows Nest Centre（3:30-6:30pm）
東北の物産展示販売のほか、名産物を実際に作ったりして試食、販売が行われる。売り上げは全て寄付される。

4. 創立35周年記念「Star Sand 星砂物語」上映会

日時：5月12日（土）13時30分開場、14時上映
会場：州立美術館ドメインシアター
ロジャー・パルバース監督の「星砂物語」（110分／英語と日本語字幕）の上映会を開催。入場料$15、会員$13
開場1:30PM 上映2:00PM （約2時間）その後、質疑応答。沖縄戦が舞台の映画。豪州かりゆし会との共催企画。

5. 創立35周年記念「食事会＠センティニアル公園」

日時：5月27日（日）（予定）
会場：Centennial Park
3月11日に場所の下見を行う。ファンクションセンターを使うことを検討。食事は業者に依頼

6. 創立35周年記念「パラマッタで日本の祭り」

日時：6月9日（土）11時～16時
会場：Centenary Square, Parramatta
本部での折り紙、習字、お茶、お花のワークショップ、金魚すくい、浴衣類販売。4店舗ほど出店。ペンリス日本人グループ、ダンダス校関係者に協力を依頼する。

7. JCSフェイト

日時：7月14日（土）11時～15時
会場：Auburn Picnic Area,
今年の留意点として、ブレーカーが落ちないよう適正な電力の配分、食べ物店の販売品を前もって調整する。

8. その他

◉35周年記念品につき、どんなものが会員のニーズに適しているかを考え、今後の検討課題とする。
◉会員世帯数　353世帯（一般100世帯、学校253世帯）

※次回理事会は、2018年4月4日（水）午後7時～

Travel Centre International
✈✈✈ 格安航空券 取扱い中！ ✈✈✈
※弊社では、別途発券手数料は頂いておりません。
弊社で "国際線航空券" をご購入頂いた方は、
海外旅行保険を 20%割引致します！
✈日帰りツアー/国内旅行
シドニーの他、ケアンズやメルボルンのツアーもあります。
✈TCI オリジナルツアー
ブルーマウンテンや土ボタル、ハンターバレー、空港送迎等の専用車手配も承っております。
✈海外旅行保険取扱い中
Suite 602 Level 6
309 Pitt Street Sydney NSW
Tel 02-9267-7751
Email: tci.travel@bigpond.com
http://www.tcisydney.com/
お気軽にお問合せ下さい！
TRAVEL INTERNATIONAL CENTRE

JCSコミュニティーネット

福祉情報サイト：http://www37.atwiki.jp/carenetsydney

アングリケア・ディサービス「シニアのおしゃべりサロン」次回は、5月23日（水）

ロンガヴィルの閑静な住宅街にある、65歳以上の日系の方を対象とした「シニアのためのサロン」です。チャツウッドからの送迎バスがあります。
なお、参加ご希望の方は電話：1800-200-422へおかけになり、「Anglicare Services Longueville のSocial Club」に参加されたい旨をお伝えになり、事前の登録をお済ませください。「Japanese please!」と言うと日本語通訳へもつなげてもらえます。
また、ウェブサイトwww.myagedcare.gov.auでの登録も可能です。
人数に制限がありますので、継続参加が可能な方歓迎です。
（事前申し込み必須）

開催日：5月23日（毎月第４水曜日開催です）
※4月はアンザック・デーの祝日でお休みです。
時間：午前10:30～午後2:30
会場：アングリケア・デイセンター（ロンガヴィル）
Christina & Arabella Streets の角、Longueville 2066
無料送迎バス：MOSAIC前（12 Brown Street, Chatswood）
午前10時出発（時間厳守）
参加費：＄20（和食弁当、お茶菓子含む）
活動内容：歌、ラジオ体操、古典文学、川柳、アート等
申込先：jcscommunitynet@gmail.com（京子まで）

スポーツ天国 SPORTS 113

スーパーリーグ日豪チームが対戦

日本、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、アルゼンチンの5カ国15チームで行われる、ラグビーユニオンの国際リーグ「**スーパーリーグ**」をご存じですか？（日本で人気の15人制ラグビーは、ラグビーユニオンと呼ばれ、オーストラリアの東部では、13人制のラグビーリーグのほうが人気があります。）

日本のSUNWOLVESとシドニーのWARATAHSのチームが4月4日に秩父宮ラグビー場、7月7日のアリアンツスタジアムで対戦します。現在0勝4敗のサンウルブス、来年のラグビーユニオン・ワールドカップ日本大会を盛り上げるためにも、勝ってもらいたいです。お時間のある方、応援よろしくお願い致します。

（ぴか）

※会員の皆さんからの情報も受け付けています。
Eメールは、kenerit@gmail.comです。
よろしくお願いします。（ぴか）

親睦の会だより

・A地区（North Sydney以南）加藤真理（Tel: 0405-235-365）
Email: marikato777@gmail.com
・B地区（Chatswood以東）：朝比奈冨美子（Tel: 9453-0058）
Email: fumikopixie@gmail.com
・C地区（St.Ives以北）：朝比奈冨美子（Tel: 9453-0058）
Email: fumikopixie@gmail.com

親睦の会役員

会長：林さゆり、副会長・会計：リヒター幸子、幹事：加藤真理、ピアス康子、事務局：斉藤直子
ボランティア：朝比奈冨美子、橋本克子、村田智富子　（五十音順）

会員募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

■2018年4月例会のご案内

【朗読を楽しみましょう！】

朗読の会「声」のみなさんによる「昭和天皇はそばがお好き」「お蕎麦について」「天ぷらよりタヌキかな」「オレとワタシ」「原野の蕎麦」など、蕎麦に関して著名人が書いたエッセイの朗読を、心で感じるように聴かせていただきます。

映像を観るのとは異なり、視覚の刺激が少ない分だけ気持ちを落ち着かせる効能があるそうです。朗読に係る質疑応答時間も設けますので、お気軽にご質問ください。

また、聴き手としてだけではなく、実際に声を出して朗読を体験してみましょう！

■日時：2018年4月14日（土）正午～午後2時40分
■会場：The Dougherty Community Centre
7 Victor Street, Chatswood
■会費：会員$5、非会員$7（お茶・コーヒー・紅茶代込）
■マイカップもお忘れなく
■お弁当の注文：和食弁当$12
■4月9日（月）迄に、地区担当者まで出席か欠席か、及びお弁当の注文のご連絡をお願いします。（各地区の連絡先は、このページの冒頭をご参照ください。）

また、5月例会の映画鑑賞に参加するか不参加か、映画チケットを自分で購入するか、または4月例会時に$13を現金で支払うかも、地区担当者にお知らせくださいますようお願いします。

【お知らせ】

■3月例会

3月例会は、3月11日Crows Nest Centreで開催した東日本大震災復興支援イベントに参加・応援しました。心の痛手は、何年経っても薄らぐことはありませんが、東北から来豪した生徒たちの前向きな明るい姿勢に感動し、こちらこそ勇気をいただきました。更なる復旧・復興を願うばかりです。ずっと応援し続けます。
（シドニー時間午後4時46分黙祷!）合掌。

■5月例会

5月例会は、5月12日（土）NSW州立美術館（Art Gallery of NSW）にて「STAR SAND - 星砂物語 - 」を鑑賞します。太平洋戦争下の沖縄を舞台に書いた「星砂物語」を原作に、その自作の小説をロジャー・パルバース氏自ら監督し、映画化しました。坂本龍一による主題曲、錚々たる俳優の出演でも話題を呼んでいます。

委細は下記オフィシャルサイトをご参照ください。
http://star-sand.com/japanese_top.html
開場1:30pm、開演2:00pm
映画チケット：大人$15（JCS会員は$13）
以下の予約サイトで、事前に購入お願いします。
https://www.eventbrite.com.au/e/star-sand-sydney-premiere-tickets-42970858996

プロモーショナルコード（Promotional Code）をクリックして、Membersと入力すると、ディスカウント価格の$13が出てきます。

インターネットで映画チケットの購入が困難な場合は、4月例会時に現金で$13をお持ちください。または、林さゆり会長までご連絡ください。当日払いは、受け付けません。集合時間・場所、昼食等の詳細は、JCSだより5月号に記載します。

クラブライフ

4月はワークショップとChildren's Festivalで踊ります

4月は、4日(水)に高校生を対象にしたワークショップを行います。場所はセントラル駅近くのNSW Teachers Federation(Conference Center, 37 Reservoir Street, Surry Hills)です。11時～12時に、よっちょれと南中ソーランを踊った後、ワークショップで高校生たちに日本のよさこいソーランの踊りを身近に体験してもらいます。

また、4月8日(日)にはChildren's Festival 2018 in Sydneyがあります。これまでにも何度も参加している恒例のイベントです。場所はCircular Quayにある公園、First Fleet Parkです。3:30pmからですので、ぜひ、みなさん応援に来てください。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと元気に踊っています。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

Cammeray Public School(Palmer Street, Cammeray)　毎週土曜日2時～3時

参加ご希望の方は、Email:sydsoran@gmail.comまでご連絡ください。

http://sydneysoran.wix.com/dancetroupe

フラダンスを踊りませんか？

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、シドニーにフラダンスの会として発足して6年になります。

体を動かす気持ちの良さを感じながら、明るく楽しく美しく、健康をモットーに和気あいあいと踊っています。

(写真は2017年の日本の祭りの舞台)

興味のある方は是非、見学にいらして下さい。年齢は問いません。

練習日:第4・第4火曜日午前11時～12時

場所:Dougherty Community Centre Annex, Chatswood

お問合わせは真理まで。電話:0405-235-365

ソフトボール大会に出場しませんか？

JCSソフトボール部「シビックス」では、会員募集中です。毎年、春と秋に催されるシドニー日本人会のソフトボール大会に出場しています。過去には優勝もしています。2017年11月に行われた春季大会では3位に入賞し、久しぶりのAクラス入りができました。

いよいよ来月、5月13日(日)には秋季大会が開催されます。一緒に優勝目指しませんか？または家族で応援に来られませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

電話:0402-011-198

メール:ckato@nmpa.com.au

(ソフトボール部部長　加藤雅彦)

JCS日本語学校シティ校
JCS Japanese School
学校 Ultimo Public School
（177 Wattle Streets, Glebe NSW 2037）
連絡先 PO Box 902, Glebe NSW 2037　電話：0452-141-618
授業 毎週土曜日／幼児部：9:30〜12:10、小学部：9:30〜12:15
Email student.city@jcs.org.au
Web http://cityschool.japanclubofsydney.org/

シティ校の4月

暑い日が続いたかと思うと、とたんに肌寒い日になったりと、日によって温度差が激しくなってきました。秋の到来を感じずにはいられません。日本語学校シティ校の１学期も、夏とともに終ってしまいました。

今年のイースターの祝日は、スクールホリデーと重ならず、いつもより長い休みになります。たくさん遊んで、たくさん勉強して充実した日々を過ごして来てください。ホリデー空けにはリフレッシュして新学期を迎えていただきたいですね。

３月中旬より始まった旧校舎の取り壊しも、最近では急ピッチで進んでいるようで、校舎の半分がすでに解体されました。今まで使っていた校舎が壊されていくところを見ると、少し寂しい気もします。しかし、それと同時に新しい校舎ができることの楽しみも大きいですね。

さて、来月は２学期が始まります。初日はこどもの日です。例年通り「こいのぼり」と写真撮影を行う予定です。シティ校では日本語の勉強と同時に日本の文化も子どもたちに継承するように努めております。日本の文化や習慣を学ぶことは、日本語を勉強する上でもとても大切なことだと思います。

また、恒例の“ Big Morning Tea”も開催いたします。現地校へのファンドレイジングの一環で行っておりますが、子どもたちも実際に自分自身で日本語を使いお買い物が楽しめます。いろんな角度から子どもたちが楽しく日本語を学べるように努めさせていただきます。

クラス紹介　くじら組

くじら組には、Year1からYear4までの女子5名、男子9名、計14名の生徒が在籍しています。元気いっぱいのクラスで、休み時間になると外に出て遊んだり、ベンチに座ってお喋りを楽しんだりと、子どもたち同士の関わり合いも活発です。

学習面においては、一年間で一年生教科書下の内容を学ぼうとしているクラスです。毎回の授業で新しい漢字を少しずつ学習しているのですが、「先生、今日はどの漢字を勉強するの？」と、新しい漢字を学習することに、みんなとても意欲的です。

正しい書き順で丁寧に書けるように、指でそら書きをして書き順を覚えたり、ノートに何度も書く練習をしたりしています。また、教科書の学習では、新しく学習した漢字の読み方を確かめながら音読をしたり、言葉の意味を考えたり、時には実際に動作をつけてその言葉を表現したりと、頭と体をたくさん使って学習を進めています。

この前学習した「くじらぐも」では、お話の中に出てくる一年二組の子どもたちになりきって、動作をつけながら音読をしました。「天までとどけ、一、二、三！」と掛け声をかけながら、目一杯にジャンプをする子どもたちが、とても可愛らしかったです。

授業中の発言も活発で、自分の考えや思いを懸命に伝えてくれます。活発すぎてついつい、自分が指名される前に答えを言ってしまったり、友だちの発表が終わる前に自分の意見を話し始めてしまったりということがありますが、友だちの発表を最後までよく聞いて、良い学び合いができるようにすることをこれからの課題として、みんなで日本語の学習を頑張っていきたいと思います。

これから、様々な学習を重ねていく中で、くじら組の子どもたちがどのように成長していくのか、担任として子どもたちの頑張りを近くで見られるのがとても楽しみです。くじら組のみんなで、楽しい思い出をたくさん作ることができますように！

（担任：内藤麻里絵）

JCS日本語学校ダンダス校
JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School
（85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117）
連絡先 電話：0411-734-819
授業 毎週土曜日／9:30～12:15
Email jcs-jpschdundas@live.com
Web http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html

1学期の様子

シドニーも秋に入り、急に朝夕が涼しくなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？もうすぐ、秋休みも始まりますね。

1学期は2月17日から3週に渡り、クラス保護者会が行われました。先生から授業内容・学習目標についての説明があり、クラスでの生徒の様子も教えていただき、とても有意義な時間となりました。3月3日にはひな祭りの授業が各クラスで行われ、歌を歌ったり、雛人形の工作をしました。最後にはひなあられも配られ、シドニーでもひな祭りを味わうことができました。3月10日は毎年恒例の新入生・編入生の手形とりです。この手形をこいのぼりの鱗の形に仕上げて、大きなこいのぼりに縫い付けていきます。こいのぼりは2学期の第1週目に全校生徒にお披露目される予定です。

クラス紹介　大河組

一番上のクラス『大河組』の担任として新年度が始まりました。昨年より1名減りましたが、生徒の顔ぶれに変化はなく、（クラス名は変わっていますが）同じメンバーで4年目となります。顔ぶれが同じですと、どうしても私語等が多くなることもあるのですが、このクラス、その点、ある程度けじめがつく年齢ですので、やるべき時にはしっかり集中して取り組んでくれます。

新学期が始まってまだあまり時間も経っておらず、また生徒の顔ぶれも同じなので、このJCS便りに何を書くべきか困ってしまうのですが、まずは、昨年度最終日のお楽しみ会のことに少し触れさせて頂きたいと思います。

ミュージックベルで、『見上げてごらん夜の星を』と『ホワイトクリスマス』の2曲を演奏しました。選曲は、こちらで勝手にしてしまいました。生憎、学校にはミュージックベルはなく、保護者の方々にも聞いてみたのですが、残念ながら20音以上をお持ちの方が見つかりませんでしたので、オンラインで購入しました。他にも用事がありましたので、日本まで取りに行きました。練習する時間は本当に少なかったのですが、本番ではとても上手に演奏してくれ、演奏後、一部保護者の方々からとても良い反応を頂きました。『来年の出し物も是非ミュージックベルを…』という声も頂きました。ということで、今年は「お楽しみ会で何をやろう…」と考えなくてもよさそうです。（笑）

さて、今年度はいよいよ小学6年生の教科書を使用しての授業となります。今年も、昨年同様、複式ではない授業形態ですので、こちらは楽なのですが、生徒たちにとってはますます難しい内容になっていくので大変かもしれません。

今年、ダンダス校は開校10年目ということですが、これまで6年生教科書まで終了したクラスはありません。今年度の授業が終了した時点で、各生徒たちが来年度どうするのか、学校としても、中学生の教科書を使用して授業を進めていくのか…課題がたくさんあるように思います。

ここ数年、毎年、原爆を題材にしたものを授業に取り入れてきましたが、今年は、原爆から離れた「戦争」を扱っていきたいと考えています。ただ、具体的に「何」ということは現時点では未定の状態ですが。

「頑張って6年生の教科書まで終わらせた！」と、各生徒が「達成感」を感じてくれるような1年にしていきたいと思います。

（担任：大上祐一）

JCS日本語学校エッジクリフ校
JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School
（188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027）
連絡先 電話：0412-283-393
授業 毎週土曜日／14:00〜16:35
Email jcs.edgecliff@gmail.com
Web http://edgecliff.japanclubofsydney.org

1学期が終わりホリデーに入ります

今年の第1学期は、イースターの関係で、4月7日（土）が最終日です。2月3日（土）に始まって、日本語の勉強以外にも節分やひな祭りの日本の文化・伝統行事を取り入れた授業も行いました。

また、新年度の第1学期ということで、避難訓練やロックダウンなど、学校生活を送るうえで重要な活動も行いました。

幼児クラスの「たんぽぽ組」では、3月3日はひな祭りということで、折り紙で男の子はお内裏様を、女の子はお雛様を作りました。

小学準備クラスの「なのはな組」では、授業ではのばす音や、濁音、半濁音の音読、書き取り練習をしています。3月3日は折り紙でひな人形を作りました。

小学部の「ひまわり組」は、国語の教科書1年下の「くじらぐも」の学習をしています。授業では、漢字カタカナのテストや、新しい漢字「文・字・正」の練習をしました。3月3日のひな祭りでは、どんな日なのか、雛人形について、ひなまつりの歌などを、パワーポイントで紹介し、話し合いました。紙皿や折り紙を使って、雛人形の製作もしました。

Non-backgroungの子どもたちに英語で日本語を教える国際クラス「さくら組」では、3月3日はひな人形を前に説明を受けて、記念撮影をしました。このクラスには、日本語クラスに子どもを通わす保護者の方も数人います。こdもと一緒になって日本語を勉強していますが、最初はまったく日本語が分からなかった方も、いまでは全員がひらがなを読めるようになりました！それに簡単な日本語で話すようになってきました。

第2学期は5月5日の子どもの日から始まります。ホリデーを終えて、子どもたちがみんな元気に学校に通ってくれることを願っています。

ひまわり組の授業の様子

国際クラスのさくら組は、ひな人形と一緒に記念撮影

第5回日本語学校合同教員研修会を開催

3月10日(土)、JCS日本語学校シティ校にて、日本語学校合同教員研修会(主催:JCS教育支援委員会)が行われた。講師はおなじみの阿部圭志氏で、これが第5回目となる。シドニーにある各日本語学校から19名の教員と7名の運営委員、合計26名が参加した。阿部氏の言葉で言う「本日のお品書き」(トピック)は、「1.ブレーンストーミング」「2.続・日本の教育が変わる」「3.実践編」「4.Facilitatorとしての教師の役割」「5.質疑応答と意見交換」。

まず、「1.ブレーンストーミング」。2枚の写真が提示され、それぞれの写真を見てグループごとに話し合った。タスクは各写真につき一つずつ。「キングス・クロス駅の写真です。あなたの感じるところを800字以内で述べなさい」「兵士から食事を与えられている子猫になったとして感じるところを800字以内で述べなさい」というもの。各グループで活発な話し合いが行われた。私のグループで1枚目の写真について話し合ったのは…、「なんか全体的に暗〜い色だね」「やっぱ、ロンドンだからね〜」「この階段すごく長い」「この風船は何だろう?」「なんでここに風船があるのかな?」「だれかが置いていったのかな?」「パーティのあとなのかな」「だれかが、じゃまになって置いてったのかな」「このトンネルの向こうには何があるんだろう?」「きっとプラットホームがあるんじゃないかな」などと想像は膨らんでいく。2枚目の写真について話し合ったのは…、「ここって、戦場だよね」「この兵士は、きっと一人ぼっちで、猫ちゃんが話し相手になってくれてうれしいんじゃないかな」「この人、猫の首、ぎゅっとつかみすぎ」「猫にしてみたら、なんか飲み物飲ませてもらってうれしいけど、ちょっとこの人だれ?こわいな、なんて思っているのかも」などと、頭でいろいろ想像してその言葉を口に出せても、800字の作文というのは簡単ではない。阿部先生によると、実はこれらの問題は、実際に、2015年、2017年に、ある日本の大学の入試で出たものだという。「え〜っ?なんか、私、入試に失敗しそう…」と思ったのは私だけだろうか?

次のトピックは、「2.続・日本の教育が変わる」。阿部氏の前回の研修でもこの話題は取り上げられたが、2020年度から日本の入試が変わるという。やはり、古い体質の日本で、これってかなり画期的なことだ。暗記だけでは社会に出てから困る。一方的に先生の話を聞くだけでなく、社会で活用できる力を身につけよう、自分で考え、自分で調べていく力をつけましょう、ということらしい。入試も、2020年にはセンター試験が廃止になり、記述式を採用するらしい。思考力、判断力、論理力などが問われるそうだ。いかに論理的に自分の考えが言えるか、というのがポイントになるらしい。従来のような、知識、技能だけを求める入試ではなく、知識、技能の応用、生徒の将来や社会とのつながりということも考慮した入試になるらしいのだ。ほんと、従来のテストから考えるとすごく画期的!…字数の限界が来てしまった。続きは次回へ。

(記:JCS日本語学校シティ校教員　マーン薫)

豪ラリと光る
あの人・この人

人物紹介 第71回

早稲田大学政治経済学部新聞学科卒業。カリフォルニア大学バークレー校にてMA、総合研究大学院大学にてPhD取得。マッコーリー大学日本学科長、日本教育研究センター長を経て2007年退官。同大学名誉賛助員。専門は日本研究、日豪関係、日本語教育。2012年、自身の大伯父であり1920年代の駐米全権大使であった埴原正直の外交の真意を問い直した力作「『排日移民法』と闘った外交官」を、元朝日新聞論説主幹の中馬清福氏との共著で出版した。
在豪46年。ご主人は中国系オーストラリア人で歯科医。シドニー大学医学部教授、心臓病専門、応用研究所所長の長女と、ロボット手術分野でオーストラリアの最先端を行く外科医の次女という、二人のスーパーレディーを育てあげたウルトラお母さんでもある。

チャオ埴原（はにわら）三鈴（みすず）さん
マッコーリー大学日本学科創立者・マッコーリー日本教育研究センター長（1994-2007）

チャオ先生とは、日豪草の根交流の会である、MUNE（Macquarie University Nihongo & Eigo）クラブ の定例会で5年ほど前に初めてお会いした。優しく上品な外見と、日本を巡る外交・世界情勢に対する深い知見を併せ持ち、さらに長年マッコーリー大学で日本語・日本学の教鞭をとりながら、二人のお嬢さんを育て上げた先輩ママとしての顔も持った先生の魅力にたちまち惹きつけられた。その後何度かクラブの会合で顔を合わせたが、今回初めて先生のオーストラリアでの業績やご家族のことについてお話を伺うことができとても光栄に思っている。

（インタビュー、構成：西牟田佳奈）

ーどうしてオーストラリアに来られたのですか？

早稲田卒業後カリフォルニア大バークレーで修士号を取って、大学で講師として教え始めたのですが、結婚して主人が研究生活をしていたカナダに移り、トロント大でも教えていました。でも主人が若い頃から留学した第二の故郷であるオーストラリアに戻りたいという希望で、一緒にシドニーに来ました。1972年のことです。その年に長女が生まれ、74年からマッコーリー大学で日本語を教え始めました。76年に次女も生まれて、最初は子育て中心でパートタイムで教えていましたね。

ーマッコーリー大学でのお仕事についてお話ください。

最初に教えていた日本語のクラスというのは、学科としての単位にはならないContinuing Educationのコースで、学生及び学外の一般の方まで対象にしたコースでした。

当時の学生達には、オーストラリアをアジアの一員と捉え、アジアの言語である日本語を学んで自分の人生の幅を広げ、同時に自国の将来に寄与したいという、熱気みたいなものがありました。マッコーリー大の日本語クラスはとても人気があって、1クラスで始めたコースがすぐに4レベル8クラスにまで増えたんです。それなら正式な学科にすべきと大学に働きかけました。なかなか認められず、10年間頑張って87年に漸く許可がおりました。資金集めも大変でした。日本にいる早稲田大学のかつての同級生が奔走してくれました。彼等のおかげでシドニーの姉妹都市である名古屋市が動き、ちょうど1988年はオーストラリア建国記念に当っていましたのでそのお祝金として資金が出ました。

東京でも安田火災海上その他、日本企業を動かしてくれて、やっと資金が集まり、ようやく正式な日本語科が発足したんです。

ーチャオ先生の目指したのはどのような日本語教育ですか。

既に他大学にあったような研究主体の日本学科ではなく、日本語と日本知識を習得することによって豊かな人生を築き日豪関係に貢献する人材を育成するような学科を作りたいと思いました。学生が卒業後社会人になって日本人、日本企業と一緒に仕事する場合、違和感なく自由に能力を発揮できる人材を育てることが目的でした。そのためには日本人がもつ常識的な知識を共有できることが大切です。だから課程内要は専門知識に偏らず、日本の近代史や文学の通史、テレビや新聞で取り上げられる時事問題などに親しめるようにしました。日本での体験も大切です。交換留学の相手校には、早稲田、上智、横浜国立大、南山、立命館など優秀な大学選び提携しました。 また研修制度を作って安田火災海上、三菱電機、日本航空など日本を代表する企業、あるいは地方自治体に優秀な卒業生をインターンシップで一年間預かってもらいました。

1994年に日本財団から資金提供を受け、日本教育研究センターを設立しました。富士通と提携し、あの当時では画期的な漢字学習ソフトの「漢太郎」を作り、加えて日本語学習全般がインタラクティブで出来る「言語郎」というソフトも開発しました。この2種類のソフトによって、

2000年には大学一年生全課程のオンライン履修が可能になりました。日本語教育のオンライン化は世界初の試みと広く賞賛されました。オンライン化は学生の履修効率向上に加えて、既に日本語教師としてオーストラリア各地にいる先生たちにスキルアップのために利用して欲しいという願いがありました。オーストラリアの日本語学習のレベルを上げるには先生のレベルアップが不可欠と考えたからです。

初の企業研修生、交換留学生とともに（1991）

日本教育研究センターでは、2004年に日本に居ながらマコーリー大学の日本研究修士号が取れる課程も開発しました。日本人の学生や大学講師などがこのコースでMAを取得し、現在キャリアに活かして下さっている話を聞いて嬉しく思っています。

20年間、日豪に貢献できる人材教育のためにやれるだけのことはやってきました。マッコーリー大の日本語科で学び、留学、インターンシップなどのCross Cultural体験によって身につけた成果を基盤に、オーストラリアだけでなく世界中の大企業、大学、政府や国際機関などで活躍する卒業生が数多く輩出したことを誇りに思っています。

ー先生は二人のお嬢さんを育てられたお母さんでもあります。最後に、オーストラリアで子育て中の会員のみなさんにメッセージをおねがいします。

私が日本にいた頃は、女性が大企業に就職しようと思っても門前払いのような時代でした。オーストラリアで二人の娘を育てましたが、二人共家庭を持ちながら社会の中に確かな地位を築き、国内、海外のInternational Woman's Dayの催しなどに招待され、仕事、子育てに奮闘する他の女性たちに自分たちの生き方を語り、希望を与えるような存在にまで成長してくれたことが嬉しいです。

私はアメリカやカナダにも住みましたが、子どもたちの能力を最大限に伸ばせる環境と言う点に於いてオーストラリアが一番であると思っています。子どもたちの出来ること・好きなことは何でも思いっきりやらせてみてください。そしてオーストラリアのMainstreamで、一人のオーストラリア人として堂々と生きていける能力を身につけさせてください。私は娘には特に日本語は教えませんでしたが、日本文化は教えて自分の文化に誇りを持つように育てました。オーストラリア社会では世界中の文化が自然に同居しています。そこで育つ子供たちは、自然に異文化との共存を身につけ、世界中のどこにいても、自由に能力を発揮できる人間になれるはずです。その可能性を大切にしてあげてください。

MUNE Club: 発起人はチャオ先生。日本に興味のあるオーストラリア人と英語を学びたい日系人が交流する場を提供する親睦の会。毎月第三水曜日に集まってゲストスピーカーを招いたり文化的な活動を通じて親交を深めている。興味のある方はJeannine Moorhouseさん(Convenor: 94896820)または西牟田（0416206464）まで。

日本再発見

「恐山」は、山ではない？！

日本三大霊山として高野山、比叡山とともに数えられるみちのくの最果て青森の恐山。一昨年初めて訪れてわかったことが、なんと恐山という「山」は存在せず、宇曽利湖と近辺にある山々にぐるりと囲まれた聖地を「恐山」、と呼ぶのだ。門の入り口に流れる三途の川。そこにかかる赤い橋がこの世ならざる世界へ誘ってくれる。

「あの世」にたどり着いてみると、そこはなんとも美しい静寂に満ちた空間が広がっていた。硫黄の湯煙が立ち上る岩場は、136の地獄が並び、所々に並ぶおびただしい数のお地蔵さんの周りには幼子の霊を祀る色とりどりの風車がカラカラと回っていたり…、生と死、天国と地獄などが共存し、もしや同一のものなのでは？とも思える不思議な感覚を味わわせてくれる異次元の世界。死ぬ前に一度は下見に行きたい「あの世」だ。

（もと）

オーストラリアで家を建てよう

第35回

ひなっち

みなさんこんにちは、いかがお過ごしでしょうか？今回で35回目の登場となります。

前回が1・2月合併号だったので「新年明けましておめでとうございます」と書いて、そして今回が4月号だから「ニッポンの新年度おめとうございます」だな。

さて、前の回でも書いたように、このコラムの本来の「家が落成するまでの過程」はとっくのムカシに終わってて、現在は落成後の顛末を中心に書いており、趣旨からは逸脱していることを改めてお詫び申し上げるとともに、ただそうは言っても時間を逆行して建築途中の描写に戻るのは難しいし、そもそも建築の過程のみにフォーカス当てるのなら35回分ものネタがあるワケないし…と自己弁護に走りつつ、今回も通常路線でいってみたいと考える所存でございます。

さて本題。

Landscaping＝造園の件については第30回目（バックナンバー参照してね）で触れていて、その後も嫁さんとふたりでBunningsでデート、じゃなくてClotheslineを買いに行ったとかしばしば登場。

この爺さん、DrivewayやAlfresco（庭へと続くテラス）をコンクリ固めて作ったり、Alfrescoにはさらにタイルを敷いたりなど、我が家のLandscapingを包括的にお願いしたまではよかったけど、契約途中にタイにバカンスに出掛けて数週間お休みしたり、肺をちょっとこじらせてさらに数週間お休みしたりと、工程表は当初の計画から大幅に遅延し、というか最初っからスケジュールなどあってないようなもので、最終的な完成まで結局7カ月近くを要した。

そんな爺さんとの半年間の付き合いで分かったことは「言うとおりにしていれば、まず間違いない」。経験豊富な爺さん、Landscapingのセンスに一寸の狂いもなく、トーシロがとやかく口挟むよりも勝手に泳がせておいたのは、大正解。

例えばAlfresco。 雨降った後に水たまりができたらイヤだな、と思ってたらしっかり対策くれてた。放置されてた黄色い水準器を置いてみると、角度にすれば1°もない、多分0.5° すらないくらいの、気持ち程度に傾斜していて、雨の日も水洗い清掃の時も、自然と外に流れていくという。やるじゃん爺さん！

例えばBackyard。 手前の境界線からこちら側が芝生、向こう側はPebble（小石）を敷き詰める予定。個人的には全部芝生で行こうと考えてたが、「メンテが大変だぜ」という爺さんのアドバイスに従うままにGreenは当初の約半分の面積に落ち着き、残り半分はPebblesに。

例えば芝生。 Front Yard全体に黒土が盛られていつでも芝張りOKとなったある日、芝生一式がDeliveryされたので、お、予告通り翌日には完了か？と思わせておいて、結局Deliveryされただけで芝生ロールは路上に放置されたり、さらに計算違いで芝生が足りず、3分の1程度が次回持ち越しとか…。張り終えたら、「根がつくまでは土を常に湿らせておけ！朝夕2回は水を撒け！」という爺さんの指令のもと、嫁さんと子どもたちがせっせと水撒きに勤む。

左奥のAlfrescoの傾斜が絶妙

とある日の朝、朝日に輝く緑の眩しさを体感しようと7時前にカーテンをバッと開けたら、すでに爺さんが来ていて頼みもしてないのに、まるで専属の庭師みたい水撒きやってたり。

また、Front Yardの水道は、爺さんの手違いで花壇の土中に埋没してしまったので、撒き水はお隣さんから拝借。ホースまでもを拝借。「すみませんねぇ」と恐縮してると、「全然気にしなさんな。なぜならメーターまだ稼動してないから。水は今のところFree of Chargeなのだ」って。花壇の囲いに穴空けてそこに延長水道管つなげて蛇口出すって言ってたけど、爺さん先に埋めちゃったという…。

Before

After

芝生はよくない例だったかな。とにかくLandscapingの全工程が終了したのは忘れもしないあの日。なでしこがW杯ドイツ大会決勝で米国を破った2011年7月17日。

それでは、続きはまた次回。

って、次はあるのかな？よく分からん。最後かもしれないから、結びの言葉でも書くか。

こうやって当時のこと写真とともに振り返ってきましたが、いろいろあったなーって想い出が走馬灯のように蘇る。そーゆー意味では、いい機会でした。執筆開始したのは2012年初頭からで、その時は築Less Than1年で、新築そのもの。その気持ちを持ち続けたままコラム書いてきて、「まだまだ全然新しい、建ったばかり」と思ってたら、いつの間にか築7年の中古物件なんだよなー。この国の基準ではまだ「Near New」って呼んでいいとは思うけど、あれから7年も経つこと以上に、6年近くもコラム書き続けてきたのか…　遠い目…

クリーンアップ・オーストラリアに参加

３月４日（日）、レーンコーブ・ナショナルパークで恒例のクリーンアップ・オーストラリアに参加しました。今回もシドニー日本人会の皆さんと一緒にゴミを拾いました。当日は、大人から子どもまで総勢118人（JCS11人、日本人会107人）が参加し、朝9時から11時まで公園内や周辺道路のゴミを拾いました。

清掃活動の後は、BBQランチを楽しみながら、参加者と懇親しました。

「しらせ」シドニー寄港

今年も日本の南極観測隊員を乗せた砕氷艦「しらせ」が、南極から日本に戻る途上シドニーに寄港し、シドニー市内東部、ウールームールーの海軍基地に停泊しました。

日本人コミュニティーの関係者を招いての艦上レセプションが、3月20日（火）午後6時30分から開かれ、JCSをはじめ日本人やオーストラリア人の関係者などを招いて、盛大なレセプションとなりました。日本クラブからは、役員及び会員の方が参加し、南極の氷の入った飲み物をいただき、皆さん“南極の味”を味わいました。

ハーモニーディナー

３月21日（水）、恒例のNSW州首相ハーモニーディナーパーティに、JCS日本語学校の運営委員や先生方が出席しました。

このハーモニーディナーパーティは、毎年3月のハーモニー・デーに開催され、各民族語学校の代表者をはじめ、エスニック団体関係者や企業などを招待して催されます。JCSからは水越会長はじめ、日本語学校シティ校とエッジクリフ校の運営委員と先生が参加しました。

写真は、竹若総領事を囲んで、シティ校とエッジクリフ校の運営委員と先生の皆さんです。

シドニーには日本の企業が支店や現地法人を設立していますが、日本政府関係機関も事務所を構えて、オーストラリア人に対して日本文化の紹介や、観光や貿易の促進活動を行っています。
シドニーに暮らす私たちには、普段、なかなか知ることのない日本の政府関係機関の活動をご紹介したいと思います。
第4回目は日豪の貿易と投資の促進を図る日本貿易振興機構のジェトロ（JETRO）です。

日本貿易振興機構（JETRO）シドニー事務所
JETRO Sydney
Level 15, Governor Macquarie Tower,
1 Farrer Place, Sydney NSW 2000
電話：(02) 9002-6200
ファックス：(02) 9247-6301
www.jetro.go.jp/australia

日本クラブの皆様、こんにちは。今回、ジェトロのご紹介をさせて頂く機会を頂き、大変有難うございます。

ジェトロ（JETRO）の日本語の正式名称は日本貿易振興機構、英語名はJapan External Trade Organizationで、現在、海外には54カ国に74事務所、日本国内には本部（東京）、大阪本部、アジア経済研究所、昨年4月に新設された日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）、および、北海道から沖縄まで45の地方事務所があります。ここシドニー事務所は、1960年3月に設立されました。現在、職員は11人おり、日本とオーストラリアの貿易・投資の促進に取り組んでおります。もう少し詳しく、ジェトロの業務をご紹介させて頂きますが、主な業務は、四つの柱からなります。

2017年9月に開催したシドニーでの食品商談会

一つ目の柱は、日本企業の皆様の輸出や進出のサポートです。これをさらに分けますと、一つ目は、オーストラリアにある日本の企業の皆様方とご一緒に仕事をさせて頂くことで、具体的には、各種お問い合わせへの対応、セミナーの開催、調査レポートのご提供等々があります。二つ目は、日本からの輸出、および、新たに日本からオーストラリア進出されてくる日本企業の皆様へのサポートです。ここ数年で、海外展開をお考えになる日本企業の数は、非常に増えていることを実感しています。

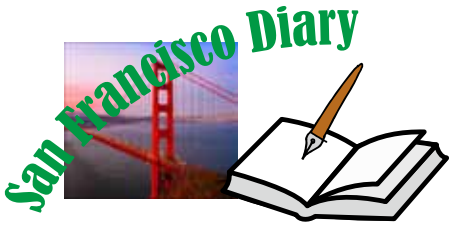
二つ目の柱は、日本産の農林水産物・食品の普及にかかわるサポートです。日本産の農林水産物・食品の輸出を2019年に1兆円にするというのが日本政府の目標です。2017年の輸出金額は8,073億円で、うちオーストラリア向けは、148.1億円で第9位でした。オーストラリア向けで金額が上位の品目は、清涼飲料水、アルコール飲料、ソース混合調味料、ホタテ貝、醤油などです。昨年9月には、シドニーで、日本産食品の商談会を行いました。引き続き、日本クラブの皆様のご協力も頂きながら、取り組んでいきたいと思います。

ジェトロ作成「シドニースタイル」の表紙。ウェブサイトからご覧いただけます。

三つ目の柱は、オーストラリア企業が日本に進出（会社を設立し雇用を創出するような進出）する際のサポートです。日本からオーストラリアへの進出に比べ、日本への進出はまだ少なく、今後伸びる余地が多いと思います。皆様方のお知り合いで、日本への進出を考えているオーストラリア企業がいらっしゃいましたら、是非、ジェトロにご紹介ください。

四つ目の柱は、調査と情報発信です。個別のご相談への対応、および、ジェトロウェブサイト、メルマガ、セミナーなどでの情報発信を行っております。

今後も、皆様方のご意見やニーズを伺いながら、業務に取り組んで参ります。私たちの名刺には「まずはジェトロへ、Talk to JETRO First」と記させて頂いております。是非お気軽にご連絡、ご相談ください。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



サンフランシスコの地震

私が住むダンビルは最近小さな地震が沢山起きています。カリフォルニア州は北米プレートと太平洋プレートの境界域に位置し、日本同様世界の地震多発地帯のひとつです。サンフランシスコは1989年10月17日午後5時過ぎマグニチュード6.9という地震が起りました。震源地はサンフランシスコから約50キロ南部にあるサンタクルーズ山脈。3000人以上が重軽傷を負い67名が死亡しました。それ以前の大きな地震は1906年のマグニチュード8.3で、3000人以上が死亡したという記録が残っています。オーストラリアに住むこと30年、すっかり「揺れ」を忘れていた頃にサンフランシスコで体験するとは。しっかりと備えないといけませんね。

お酒の後のスイーツ

お酒好きの私は甘いものも大好きでお酒の後にスイーツを食べてしまう今日この頃です。

日本ではハーゲンダッツは大人気で新しいテイストを開発する日本独自のチームがいるようです。その味わいも実に多彩で日本独自のテイストが何十もあります。そしてさすがに美味しい。

オーストラリアはそれなりに美味しいアイスクリームはあるのですが、ハーゲンダッツのクオリティはなかなかありません。

そんな中で最近やっとハーゲンダッツがそのプレゼンスを増してきたようで、スーパーでもパックで買えるようになってきました。日本のような種類の数には到底かなわないものの、Salted CaramelやBelgian Chocolateはなかなかの絶品です。さらにシェアを拡大することを望みます。

お知らせ

MOSAIC日本語カルチャー教室

Willoughby Council運営のマルチカルチャーセンターMOSAIC（12 Brown Street, Chatswood）では、日本人のためのカルチャー教室が開かれています（地域外の方でも参加できます）。

タイチー（太極拳）クラス： 毎週水曜日2時半から、24式、48式を日本人講師から毎回20人程度の女性（平均年齢75歳？）が楽しんでいます。最近は男性も増えつつありますので、ぜひお気軽にご参加を！参加費はたったの2ドル、終わったあとは爽快な気分です。

日本料理教室： 奇数月の第三水曜日10時半～12時まで日本人講師のもと日本料理教室が開かれています。毎回15名ほどの参加で、費用は実費12ドルのみ。ご参加希望の方はご予約をどうぞ！

Info Talk： 奇数月の第三水曜日午後1時から2時まで、住まいや地域社会にとって重要なテーマについての説明会が通訳付きで行われています。ちなみに3月21日は、家庭における防火について行われました。

MOSAICセンターでは、Japanese Social Groupの活動のほかにも各種英語教室や趣味の教室が開かれていますので、一度訪ねられたらいかがでしょうか？

■申し込み先

MOSAIC日本ソーシャルグループ（Japanese Social Group）

担当：榎本正弘　携帯：0422-019-930
Email: fairgo6007@hotmail.com

担当：雅子グライム　携帯：0422-576-990
Email：makog7989@gmail.com

MOSAIC Multicultural Centre

The Lady and the Unicorn “貴婦人と一角獣”

現在NSW州立美術館で展示中の“貴婦人と一角獣”（The Lady and the Unicorn）はフランスの国宝で、中世ヨーロッパ美術の最高傑作の一つ、“中世のモナリザ”とも称される6連作のタペストリー。過去500年間フランスを出たのは、ニューヨーク・東京に次ぎ、これがたったの3回目。シドニーで鑑賞できる、大変貴重な機会です。

パリのフランス国立クリュニー中世美術館所蔵。全部をつなげると20メートルにもなり、1500年頃にパリでデザインされ、各々赤い織り地を背景に宝石箱をひっくり返したような美しい千花模様の中、舞台のような庭で、ライオンと一角獣を供に華やかなコスチュームを纏った貴婦人とその侍女が花や鳥、小動物たちや木々に囲まれ、音楽を奏でたり、花冠を編んだりして佇む、ファンタジックでどこかミステリアスな中世的雰囲気が紡ぎ出されています。

1841年中央フランスにある小さなお城、ブサック城で再発見され、中世のタペストリーの中でも群を抜いた美しさで知られ、リルケの小説「マルテの手記」をはじめ、ジョルジュ・サンドの小説「ジャンヌ」でも興味をそそる不思議なタペストリーとして描かれる等、文学的なインスピレーションを与えたり題材になったりしています。今回の展示でもリルケの小説の文言が壁面に紹介されています。

'Sight' c1500, from 'The lady and the unicorn' series
Musée de Cluny – Musée national du Moyen Âge, Paris
Photo © RMN-GP / M Urtado

一角獣とライオンの紋章を戴いているル・ヴィスト家がこのタペストリーの制作を依頼したと考えられ、どちらも大変に象徴的な動物で、ライオンは、古代、動物の王であり、不寝番、忠誠のシンボルであり、一角獣は、清廉潔白、貞節を象徴し、キリストの化身（神のキリストにおける顕在）を意味するとのこと。

丁度中世からルネッサンスへと移行する時期、職人と芸術家の世界が境界を接し合っていた時代に制作され、詩的な中世の世界観、精神性、ロマンス、騎士道精神や道徳性等を醸しだし、解釈としては、世俗的な歓び、宮廷愛の瞑想とされたり、最も広くは、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の"五感”を寓意的に表すものと考えられてきました。しかし、6連作のうちの一つだけに心・意志とも考えられる“わが唯一の望み”という銘文が冠されていることに疑問が残り、新たな学説や解釈も現れてきています。

'My sole desire' c1500, from 'The lady and the unicorn' series
Musée de Cluny – Musée national du Moyen Âge, Paris
Photo © RMN-GP / M Urtado

この作品は、デザインした画家と織物職人とのコラボレーションの結晶で、30もの色の濃淡を中世の植物による染色技術を用いて織り上げられ、羊毛の様々な織りの技術を用い、絹によってハイライトがつけられています。今日では、修復後素晴らしい状態ですが、表と裏の色の違いは明らかで、特に光に弱いのは黄色で、青色の上から黄色で染めることによって作り出された緑色があらゆるところで青色に変わっています。この作品が経てきた500年を超える歳月が偲ばれます。

是非皆様の目でこのミステリアスな貴婦人と動物たちの遊ぶファンタジーの世界、その謎めいた作品制作の意図を探し当てる鑑賞に浸って頂けたらと思います。

（NSW州立美術館コミュニティー・アンバサダー：鴨粕弘美）

The Lady and the Unicorn展

期日：2018年6月24日まで
場所：Upper Asian Gallery　入場料：大人$18
詳細は、https://www.artgallery.nsw.gov.au/exhibitions/the-lady-and-the-unicorn/

ART GALLERY NSW

Art Gallery of New South Wales
Art Gallery Road, The Domain 2000　Phone: (02) 9225-1700　www.artgallery.nsw.gov.au毎日10am～5pm（水～10pm）
毎週金曜11時、無料日本語常設展ハイライト・ツアーがあります。Email: communityambassadors@ag.nsw.gov.au（日本語可）
www.artgallery.nsw.gov.au/calendar/japanese-language-guided-tour/

アートレビュー

書籍

「騎士団長殺し」第一部・第二部

著者：村上春樹
発行：2017年、新潮社
★★★★

現実世界と異次元空間が交差するいつもの村上春樹ファンタジー。主人公が30代の比較的若い男性で、「私」という一人称の視点からストーリーが語られ、またその人物がサラリーマンなど時間的に拘束される職業に就いておらず（肖像画家）、経済的・時間的に自由な立場にあることもこれまでの作品と共通している。今回新しいのは、最後まで「私」という人物の名前が一度も明らかにされないこと、そして物語のテーマとして「子ども（自分のDNA）を遺すことへのこだわり」や、「結婚し、子どもをつくり、家庭を築くことの意味」を作者なりに問いかけている点である。これまでの作品では、作者は男女の恋愛、性的関係や友情について描くことはあっても、「子どもをつくる」「親になる」ことへの感心を示したことはなかった。作者自身が既に子作りするには遅すぎる（今年69歳）年齢に達し、自身が子どもを持たなかった意味についてこの作品で問い直しているのかもしれない。

観賞

高台家の人々

原作：森本梢子。2012年12月～2017年4月まで「YOU」に連載された漫画
制作：2016年、東宝映画
出演：綾瀬はるか、斎藤工、市村正親等
★★★★★

平野木絵は30歳になったばかりの地味めな会社員。口下手で人付き合いが苦手な分、心の中で様々な空想を繰り広げて毎日を明るく生きている。ある日木絵の勤める会社に、良家出身のエリート社員・高台光正が転勤してくる。実は光正は人の心が読める特殊能力の持ち主。しかしそのせいで、人間関係を築く事には慎重になっている。裏表がなく、心優しい木絵の人柄と面白おかしい想像力に惹かれ、光正は自分の能力を隠したまま、二人は付き合い始める。やがて二人は婚約し、幸せの絶頂にいる木絵だったが、ひょんな事から光正のテレパス能力を知ってしまう。初めのうちは「言葉ではうまく表せない気持ちも分かってもらえる」と光正の能力を快く受け入れていたが、自分の妄想までも見られている事に気がつくと、死んでしまいたい程恥ずかしく思うようになった。心を閉ざしてしまった木絵は二人の関係までも絶とうとする。

音楽

CHEERS TO THE FALL

アーティスト：Andra Day
★★★★

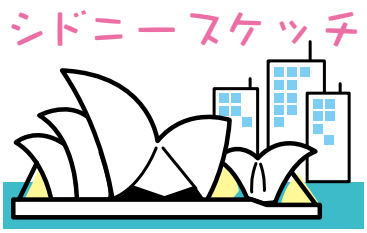
Stevie Wonderに発掘されたと言われるR&Bのサンディエゴ出身のシンガーAndra Day。その歌声は力強く美しい。そしてそれぞれの曲に気持ちのいいリズムとメロディが重なりアルバム全体を非常に高いクオリティにしている。その中でもシングルになったRise Upは心に染み入るバラード。US R&Bビルボードチャートでは13位を記録している。苦境にも負けずに頑張ろうという応援歌はそのビデオクリップも涙を誘う名曲。アルバムタイトル曲のCheers to the FallやRearviewも口ずさみたくなるような素晴らしい曲。深みのある彼女の歌唱力にはすっかり惹きつけられてしまう。幅広いタイプの曲を取りそろえた彼女のデビューアルバムは秀作。

【第180回】 活況続く地質活動

本年も変らず、火山活動及び地震に代表される地質活動が活発な様です。年明け早々群馬県を代表する草津白根山の最高峰、殆ど無警戒であった『本白根山』が1mサイズの噴石を飛ばす噴火を起し、近辺でスキーをしていた人達に死傷者が出ました。それに続き“樹氷”で知られる山形と宮城両県の県境に点在する『蔵王連峰』が活気付き、3月に入ると鹿児島と宮崎両県の県境に聳える、霧島山の『新燃岳』が微細振動を始め、6日から1週間噴煙を3000m程度まで噴き上げる爆発的噴火を繰り返しています。こうした活発な火山活動を敷衍して行き着くのは、10万年程の間に繰り返された噴火活動で噴出した火山砕屑物と溶岩とで、日本一の高さと秀麗な姿を築き上げた世界遺産『富士山』の動向。美しいものに棘が隠されている比喩の如く、富士山の深部にも日本全体の機能を突如麻痺させ得る、暴れたら危険極まりない灼熱の『マグマ』が潜んでいます。

火山以上に過活動とも感じられる様相を呈しているのが、地震帯を形成する環太平洋地域を中心に発生が伝えられる大地震。正に地球規模で広がる活発な地震活動の切っ掛けを探すと、2004年暮れに発生した超巨大地震『スマトラ沖地震(マグニチュード(M)9.1)』であったと考えて間違いないでしょう。それに続いたのが同じく津波による甚大な被害をもたらし、7年の歳月が経過した東北地方太平洋沖大地震(M9.0)で、およそ南北500km×東西200kmの活断層が平均62m滑った結果でした。1月以降に発生したM7.0以上の大地震の数は、3月9日の時点で6に達し既に昨年の年間総数に並び、このままで推移すれば過去10年間で最多を記録した2010年の21に追いつく勢いです。出来得るならば大地震の規模を桁違に上回る超巨大地震(M8.0以上)は、完全な予知が儘ならない現在願い下げにしたいところですが、日本の東海並びに南海地方そして北アメリカ太平洋岸中心部等、充分にM9.0を超す超巨大地震を引き起こし得る警戒区域が鳴りを潜めています。それらが何時何処から動くのか、一日も早い地震予知技術の確立を期待しつつ、今暫くは最良の備えが最高の防災と心得、巨大及び超巨大地震と共生するしかありません。先ず家屋の耐震強度(免震構造も取り入れ)を高め、事前に避難経路及び必要な非常食の確保等、被災を軽減する身の回りの防災対策が喫緊の課題です。

今世紀に入り環太平洋域内は言うまでもなく、地中海地域から高峰聳えるヒマラヤの山麓そして南極大陸に至るまで、甚大な被害も伴う火山と地震として顕在化する地質活動全般が、頻度と規模共に活性化していると思えてなりません。全生態系にとり深刻な地球環境の異変の解明と、未知なる内部構造の解明にも寄与すると注目を集めているのが『プルームテクトニクス=PTH 』理論。PTHが扱うのは、主として地殻活動を対象とする『プレートテクトニクス』理論に対し、地殻より更に内部を占め深さ2900kmで『核』に達する『マントル(M)』。PTHと地震波を用いた観測データから捉えられたのが、全体の対流運動とは別個に周囲との温度差でM内を浮沈するプルーム(P)。その名前は、煙突から立ち上る煙の形状に似ていることから来ています。高温で浮き上がる Pが火山に大量のマグマを供給し、プレートの動きに僅かでも力を与えているとしたら、迷惑な地質活動の活性化も充分頷けます。



AlexandriaのThe Groundsの花屋さんには、レインボーの花びらの薔薇が売られています。初めて見た時は、あまりにもカラフルで綺麗なので、ビックリしました!!
この扉の向こうには、素敵な青空が見えるパーティールームがあります。今年は、同性婚が合法化されましたので、結婚式には、このレインボーのバラが大活躍するかもしれませんね。

試してみよう　マクロビオティックの健康レシピ
食べ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子● soramame

第86回　玄米と黒豆の炊き込みご飯

雨や気温の低い日が続いたかと思うと、時折ワッと暑くなる日があって、体がビックリしていますね♪

そんな不安定な季節は体調も崩しやすいので、滋養のある物をゆっくり噛んで食事を摂り、免疫力を高めるのがおすすめです。玄米だけでも噛みやすくなりますが、黒豆を一緒に炊き込んで噛んで味わう楽しみをプラスしてみましょう。ブラックタートルビーンズは日本の黒豆とは違うけれど、栄養豊富。塩麹を加えてふっくらとおいしく仕上げます。

【材料】3合分

玄米　450ml(2.5合)(玄米と黒豆を一晩分量の水に浸ける)
黒豆　90ml(0.5合)
水　865ml(玄米と豆を足した量の1.7倍)
塩麹　小さじ1.5

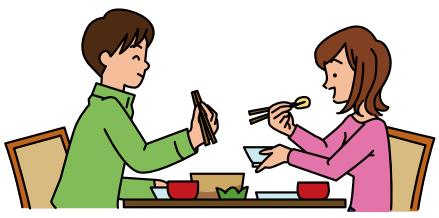
【作り方】

①材料を全て鍋に入れ火にかける。最初強火で、沸騰したら弱火にして45分炊く
②火を止めて20分蒸らし、ふたを開けてヘラで鍋底からひと混ぜして、茶碗に盛る
＊水の量は季節や米の状態や好みで調整する。
＊日本の黒豆は大豆の仲間、ブラックタートルビーンズはインゲンの仲間。

マクロビオティックって？

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養法」「正食法」のことです。
穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。
気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。
→　www.soramame.com.au

外食日記



Peshawar Restaurant

住所：11/45 Rawson Street, Auburn
電話：(02) 8964-5560
営業：月～木：15時～23時、金～日：12時～23時
予算：20ドル
雰囲気：8
料理：8
サービス：6

今月はパキスタン料理です。カレーが何種類かあるのですが、インドのカレーとはまた違ったカレーが楽しめます。写真はBhindi Gosht(ラムとオクラのカレー)です。オクラが入っていますが粘りはほとんどなく、ラムがゴロゴロと入っていて食べ応えがあります。その他、Haleem(牛肉, 小麦, スパイスの煮込み料理)は、具材が溶けてペースト状になるほど煮込んでいて、かなり濃厚です。また、Murgh Makhaniはバターチキンですが、通常のものより甘さ控えめでこってりとしています。ラムとダール(豆)のカレーDaal Goshtは優しい味です。全体的にマイルドな辛さで食べやすいです。隣にはペルシャ料理屋があるので、こちらも別の機会にご紹介します。

仏教語からできた日本語 その147

渡部重信
Email hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派［西本願寺］
オーストラリア開教事務所長

極楽（ごくらく）

極楽は安養、安楽国、蓮華蔵世界、等呼ばれることもありますが、勿論、西方十万億の仏国土を過ぎた彼方にある阿弥陀仏の浄土を指して言います。後世、日本では極楽浄土と呼ばれるようになり、浄土というと極楽を指すと一般に考えられるに至っています。この極楽の原語は、サンスクリット語のスカヴァティー（Sukhavati）で「幸ある所」という意味があります。「安養」「安楽」という漢訳は受け入れられるが、「極楽」と言う訳語は不適当では、という疑問が出され、極楽の原語を他に求めようと試みられたことがあったそうですが、「極楽」という語は、もともと中国に存在し、それをスカヴァティーの訳語に当てたと思われます。

この極楽とは一体どのような世界なのでしょうか？かの「阿弥陀経」には、次のように記されています。

「極楽世界は、私たちの世界から西方十万億の仏国土を過ぎた所にある。そこでは、無量寿（阿弥陀）仏がいて法を説いている。その世界に住む者には決して苦しみはなく、ただ無量の幸福だけが存する。それ故、その世界は幸ある所と呼ばれる。その世界は、七重の欄楯（石垣）と、七重の並木と鈴をつけた網によって飾られ、金、銀、瑠璃、水晶の四宝をあまねく巡らし、燦然ときらめいている。またそこには、金、銀、瑠璃、水晶、珊瑚、瑪瑙、琥珀という七宝からできた蓮池があり、八功徳水が充満している。その蓮池の周囲に四宝でできた四つの階段がある。またその池の周囲には七宝からなる宝樹が生い繁っている。そして、その池の中には車輪ほどの大きさの青、黄、紅、白、及び雑色の蓮華が色とりどりに咲き誇っている。（中略）また、その仏国土では、並木や、鈴をつけた網が風に吹き動かされて快い音を出す。そしてそこに住む人々は仏と法と僧伽を念ずる心を起こすのです。」

以上の記述より、極楽の情景が少しはイメージできるのではないかと思います。

それでは、このような極楽の概念は何処から来たのでしょうか？西洋の学者の中には、阿弥陀仏の起源をペルシャの太陽神から求める説や、極楽をゾロアスター教が起源であるという説があるが、学問的に根拠は無いとのこと。近年、「エデンの園」に極楽の起源を求め、極楽は西方における大砂漠の彼方にあるオアシスを宗教的に昇華せしめたものとのユニークな説で、これは一般に学会で未承認ですが、ロマンに溢れた説で、今後十分に検討される必要があるとのこと。他方、ヒンズー教や仏教の文献に極楽の観念と相通ずる種々の記述が見られることより、極楽の観念をインドの内部、あるいは仏教の内部に求める説もあり、こちらの方がより一般的で有力と言えるとのこと。　合掌

法律Q&A 弁護士に聞いてみよう 134

主任弁護士 林由紀夫（H & H Lawyers）

Q: オーストラリアでは、一つの会社での勤続年数が5年？か10年？に達すると、特別な有給休暇が貰えるという話を聞きました。これはどういうものなのでしょうか？

A: これは、Long Service Leaveと呼ばれるものです。これに関する法律はオーストラリア各州ごとにあります。ここではNSW州のLong Service Leave法について説明します。

まず同法には、10年間勤続した従業員には2カ月の有給休暇が与えられる、と記されています。勤続は、必ずしもフルタイムで雇用された期間である必要はなく、パートタイムやカジュアルで働いていた期間もカウントされます。カジュアルやパートタイムの場合には、その雇用条件に応じたLong Service Leaveの日数が算出されます。また、未消化のLong Service Leaveに関しては、雇用関係の終了時に雇用主は従業員に対し、それを支払わないといけないという義務を負っています。

上記に加え、勤続年数が5年以上10年未満の従業員もまた、雇用関係終了時に、その勤続期間に比例した分相当のLong Service Leaveの支払いを受ける権利を有します。ここで注意したいのは、こうした勤続年数5～10年の従業員の場合は、雇用関係終了時に無条件でLong Service Leaveの支払いを受けることができるわけではない、という点です。原則的に、従業員が任意で辞職する場合には、支払いを受けることはできません。但し、第4条(2)(a)(iii)項により、従業員が、病気、精神疾患、家庭の事情その他のやむを得ない理由（Pressing Necessity）によって離職しなくてはならなくなった場合等には、当該従業員はLong Service Leaveの支払いを受けることができます。鬱病で仕事の継続が困難だと医師に診断された場合や、妻・夫が病気で入院し、小さな子どもたちの面倒をみなくてはならなくなった結果として離職した場合などがこれに該当します。Long Service Leaveについて問題が起きやすいのは、勤続5～10年の従業員の自主的な離職の際に、それが上記のような「やむを得ない理由」によるものであったのか否かという点です。また、解雇された場合においても、同項によると、「従業員による重大な過ちの結果解雇された場合、当該従業員はLong Service Leaveの支払いを受ける権利を有さない」と記されています。例えば、会社のお金の横領で解雇された場合などがこれに該当します。

また、同項によると、離職が当該従業員の死亡によるものであっても、Long Service Leaveの支払いを得ることができます。いうまでも無いことですが、これはつまり、Long Service Leaveは当該従業員の遺産の一部として遺族に相続されるということです。

暮らしの医療

禁煙を促すためのアドバイス

ドクター・鳥居／Northbridge Family Clinic

タバコを吸うことの害はこの世代ではほとんどの人が理解していると思います。ただし、害があるとわかっていても多くの人は止めることができずに悩んでいます。医師としてできることは患者さんとの接触のあるごとにその危険性を説き、アドバイスをすることです。それでも禁煙を強制することはできません。患者さんが自分から止めようと思ったときにそのアドバイスを強化するしかありません。禁煙の手助けの手段としてはニコチン補充療法やZyban、あるいはChampixという投薬療法もあります。

また、完全にタバコを絶つことが最終目標ですが、止めようとして少しでも喫煙量を減らしはじめることも大切な第一歩であることを認識してください。そして特に喫煙の家族歴の強い人はニコチンへの依存度が高く、何度も逆戻りしてタバコを吸ってしまうこともあるかもしれませんが、再度挑戦することが大事です。

たとえ上記のような薬品の助けを借りて禁煙に挑戦するにしろ、自身の力でやってみるにしろ、次のような一般的な日常生活での点に注意を払えば禁煙を達成することに役立ちます。

＊喫煙は屋外でする

タバコを吸うときには毎日の生活の中でのきっかけ（キュー）があります。習性のようなものがあり、例えば家に帰ったときに必ず一服吸うとか運転しているとタバコに手が伸びるとかいう習慣です。このような日常のキューとタバコを吸うという行動との連鎖反応をペアリング（pairing）といいます。できればこのペアリングを引き離すことが大事です。もしタバコを家の中で吸いたくなったら必ず屋外に出て吸うように心掛けていればこの連鎖反応を解除することができ、タバコを吸うきっかけをなくせます。

もし、同じ家族のメンバーで1人以上吸う人がいる場合も必ずタバコを吸うときは外に出て吸うというルールを決めておけば家の中をスモークフリーゾーンにすることができます。家族メンバーの1人が禁煙し始めても家の中のタバコの煙からの間接喫煙により逆戻りしてしまうこともあります。

＊運転中はタバコを吸わない

上記の理由と同じで、運転中に、あるいは車中でタバコを吸いたくなったら必ず車から降りて吸うように注意を払うべきです。そうすることによって〈運転＝喫煙〉という連鎖反応を解除できます。また、車内で喫煙者がいれば、一度車から降りて外で吸ってもらうようにしましょう。

＊カフェインの摂取量を半減する

タバコはカフェインを含めてあらゆる薬品の代謝を促進します。ですから喫煙中はカフェインは体内では比較的早く処分されるので血中レベルはあまり高くなりません。しかし禁煙を始めるとニコチンがカフェインに与える代謝効果が薄れ、急に血中のカフェインのレベルが上昇します。カフェインレベルが上がることによっておこる副作用には興奮、不眠、イライラなどがあり、これは禁煙による禁断症状に似ており、よってこのような症状がおこれば当然タバコを吸いたくなってしまいます。

禁煙中にはカフェインの摂取量を半減すればこのような現象がおこることを避けられます。

＊飲酒量を減らす

アルコールの血中濃度はタバコを吸うことによって低下します。これはニコチンが腸からのアルコールの吸収を抑えるからと思われています。ですから禁煙するとこの効果が薄れ、アルコールの血中濃度は喫煙中に飲んでいた飲酒量と変わらなくても急に上がり、酔っぱらいやすくなりますので注意しておくべきです。

＊規則正しい食事

多くの喫煙者は空腹になると食事をとる必要とタバコを吸う必要とを混乱し、食べる代わりにタバコを吸ってしまう傾向があります。ですから規則正しく食事を摂り、空腹感がなるべく長く続かないように心掛けることも大切です。

＊運動

タバコを吸いたくなったときに短時間の早いペースの運動をすれば喫煙したいという欲求を抑えることができます。早足で歩いたり、階段を駆け上ったり、腕立て伏せをしたりなど試してみる価値はあります。

＊女性の場合

月経周期の後半で月経前緊張症がおこっているときに喫煙を始めると成功しないことが多くあります。月経の後で緊張症が治まっている時期を見計らって禁煙を始める方が禁断症状がおこりにくいようです。

今月の喜怒哀楽　〈喜怒哀楽〉

実は、私は、リアリティ番組ミニオタクである。けっこう好きで、よく見てしまう。最近ちょっとハマっていたのを紹介すると…本当の愛を求める独身の男女20人が参加する番組。3人のエキスパートが「この人とこの人は同じ趣味も多いし、きっとうまくいくんじゃないか」などとマッチングパートナーを決め、10組の即席カップルが生まれるのだ。結婚式（仮）で2人は初めて対面する。数週間一緒に暮らす実験をした後に、本当に結婚するか、それともさよならするか、を決めるのだ。最初は、ひまつぶし程度に見ていたのだが、これがけっこう面白いのだ。いろいろな人間模様が見えて、実に興味深い。これを見ていると、本当に人生は山あり、谷ありだと思う。ある朝は「怒」だったのに、午後には「喜」に変わり、夜には「哀」になる…なんていう劇的な展開も多い。いや〜っ、人生の複雑さを垣間見ることができるし、それといっしょに、自分も「喜怒哀楽」の気分を味わえる。（ケーエム）

編集後記

本誌の編集とレイアウトを、お船の中でしています。テクノロジーの発達は恐ろしいもので、海の上に電柱などなく、NBNのケーブルもないのに、通信衛星を使ってインターネットができる時代です。おかげでゆっくりクルーズを楽しむ暇もなく、何の因果か、本誌を作っておりますトホホ…（泣）▼ところでシドニー発のお船のお客さんはほとんどがオージーです。そして超や横綱級がつくほどの肥満体がデッキを歩いています。飛行機を選ばずに船を選んだ理由がわかるというものです。そんな人たちから見られている私は、さぞかし食べることに怠慢な奴だと思われているのでしょうね。シドニーから次の寄港地ダーウィンまでの5日間は海の上をひたすら走るだけ。勢い、何もすることがないので朝昼晩とグルメ三昧。宜なるかな豊かな肉腹。こちらは読書とDVD三昧。携帯が繋がらないのが天国ですね！（ゆ）

Japan Club of Sydney

シドニー日本クラブ（JCS）は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	竹若 敬三（在シドニー日本国総領事）
相談役	Chalker 和子／水野 亮三
会　長	水越 有史郎（教育支援委員会代表）
副会長	渡部 重信（事務局・編集委員会編集長）
副会長	平野 由紀子（JCSレインボープロジェクト代表）
理　事	多田 将祐
理　事	川上 正和
理　事	Joannesえみ
理　事	光岡 由紀子（JCSレインボープロジェクト幹事）
専門理事	林 さゆり（親睦の会会長）
専門理事	Fraser 悦子（コミュニティーネット幹事）
専門理事	Costello 久恵（JCS日本語学校シティ校代表）
専門理事	Cox 由紀子（JCS日本語学校ダンダス校代表）
専門理事	水越 有史郎（JCS日本語学校エッジクリフ校代表）（兼任）
事務局長	藤田 結花（会計・事務局長）
監事	会計監査（岩佐 いずみ／Richter 幸子）
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊（水越 有史郎）
	JCSフラアロハ（Gault 良子）
	ソフトボール部（加藤 雅彦）
編集委員会	編集長（渡部 重信）
	編集委員（水越 有史郎／西牟田 佳奈／佐藤 薫／大塚 藤子
	林 由紀夫／多田 将祐／マーン 薫／坂口 潤／斉藤 直子）

編集から

投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んでの感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

いずれも原稿は、以下宛に送ってください。

Email: editor@japanclubofsydney.org

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてください。

www.japanclubofsydney.org

エーブルネット（携帯電話会社）

Suite 29, Level 17, 329 Pitt Street Sydney 2000
Phone: 02-9264-9601
Email: info3@able.net.au WEB: https://able.net.au
①【オーストラリア国内サービス】格安SIMプラン：7GBで月額$30、10GBで月額$37。
②【日本向けサービス（日本帰国時に）】オーストラリアで受取り・返却＆購入で日本到着後すぐネットが使える。
【日本向けポケットWIFI】2週間以上レンタルすれば、よりお得に！
【日本向けデータSIMカード】ご自身のアンロックされたスマートフォンにSIMを入れれば、日本でそのままネットが使える便利なサービス。
★詳しくは、WEBをご確認ください！

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。ぜひ、ご利用ください。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting
Suite 1003 Level 10, 84 Pitt Street, Sydney 2000
Phone：(02) 9223-7448
E-mail：info@taxjp.com.au
新規顧客に特典
JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

プラネットヘア（日本人美容室）

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000
Phone: (02) 9267-4881
JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。また、平日2時までに2人以上でご来店の場合20%Off（カットは15%Off）。日本の器具、商品を使用していますので、安心してご来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jp/を見てください。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000
Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com
Website: http://fullofbooks.com.au
シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べるうれしい店内在庫約8万点をご用意しています。買取も随時受付中。
このクーポンをご提示のJCS会員の方へ、本・CD・DVDのお買上を5%特別割引いたします。（※セール商品や化粧品など一部除きます。尚、クーポンは原本のみ。コピー不可とさせて頂きます。）

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile：0402-178-519
お肌の大敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアどうしていますか？
きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の"ビタミン美"…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試し下さい。
店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。
★JCS会員特典：初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント！お気軽にご連絡下さい。

JTTディスカウント日本食販売

Phone: (02) 9317-2500
Fax: (02) 9669-1988
Email: info@jtt.com.au　www.jtt.com.au
お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%割引きとさせて頂きます。
メルマガを登録して頂いたお客様には、お得な情報を随時お送りいたします。ご来店の際にぜひご登録下さい。
（※配送可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。）

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au
www.soramame.com.au
Mobile：0402-961-907
そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

NBCA PTY LTD

Suite 41, Level 1, 45 Chandos Street, St Leonards 2065
Phone: (02) 8007-5363
担当：人材（加藤）、ビザ（山口）、留学（山口）
Email: info@nbca.com.au　www.nbca.com.au
ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみ通常の料金から10%の割引にさせて頂きます。留学につきましては、JCS会員のみ通常料金から特別割引させて頂きます。（学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。）

Noriko's Hair Salon

Shop 6, Level 1, 25-31 Florence Street, Hornsby 2077
Phone: (02) 8924-5189
http://norikohairsalon.wix.com/hornsby

JCS会員の方のみ、初回全サービスを通常料金より10%OFFとさせていただきます。
お支払いの際は「JCSだより」掲載のこの会員特典をご提示ください。

JCSだより2018年4月号（4月6日発行 通巻第396号）　次号4月号は5月1日発行です

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話：0421-776-052（9時～18時）
Email：jcs@japanclubofsydney.org（渡部重信）まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、渡部編集長（editor@japanclubofsydney.org）
または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えて
JCS事務局までご返送ください。入会申込書はウェブサイトからダウンロードできます。

①入会申込書に、入会金 $33 と年会費 $70（＋発送費 $10）の合計金額の小切手を添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 $110（GST 含む）のみです。
②入会金及び年会費の銀行振込は、以下の口座宛にお願いいたします。その際、必ず名前をお知らせください。
③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。または、メールにてお知らせください。（Email：jcs@japanclubofsydney.org）
④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

(1) Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee $33, the annual membership fee $70 plus Postage $10, total $113 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is $110.00 (inc.GST).
(2) For EFT payment, please pay the bank transfer of joining fee and annual fee to the following bank account. In that case, please be sure to let us know your name.
(3) Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address or email to us.
(4) Please note that both the joining fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内

広告締切は毎月15日です。広告（そのまま掲載できるアートワーク）を、
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金（1回のみ）	会員割引料金（1回のみ）	会員割引料金（6～11ヵ月）	会員割引料金（12カ月以上）
1ページ	横18cm×縦25.5cm	$220.00	$176.00	$154.00（月額）	$132.00（月額）
1／2ページ	横18cm×縦12.5cm	$132.00	$ 99.00	$ 88.00（月額）	$ 77.00（月額）
1／3ページ	横18cm×縦8.2cm	$ 99.00	$ 77.00	$ 66.00（月額）	$ 55.00（月額）
1／6ページ	横8.7cm×縦8.2cm	$ 55.00	$ 44.00	$ 38.50（月額）	$ 33.00（月額）
折り込みチラシ	A4サイズ以内	$440.00	$330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引があります。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿（正しい広告サイズで、読みやすくはっきりと仕上がったアートワークまたはデータ）を、事務局宛に郵送もしくはメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。チラシの同封は、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。
※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。
※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

●入会金・会費・広告料金のお支払方法●

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」でお願いいたします。
郵送先：Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名（フルネーム）と電話番号をDescription／Reference欄に必ず入力して下さい。
お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意下さい。
振込先　Account Name: Japan Club of Sydney Inc.
BSB No: 032-002　Account No: 51-3156